

サンフランシスコ,
CA

課題

世界的ソーシャルネットワーキング企業の本社において、リラクゼーション、チームビルディング、そして手軽なミーティングも行えるような魅力的なスペースを提供

ソリューション

クレストロンの技術を使用したハイレベルなビデオエンターテインメントと、テレビ会議システム



Logging On

Twitter®のサンフランシスコ本社に、素朴な雰囲気の魅力で且つ最先端技術を用いたスタッフ用ラウンジが登場しました。

さて、ツイッターのスタッフ達は、リフレッシュが必要な時に何をしているのでしょうか？

本社には 2000 名以上のスタッフがあります。

「the Lodge」は彼らにとって大切なミーティングの場です。パーティションの周りで立ち話をする代わりに、ここに来てコーヒーやビールを飲む事ができるのです。”

— Alex Stillings

IT マネージャー, Twitter

1つの選択肢として人気がある、本社内にある素朴な雰囲気が素敵なカフェ兼スポーツバーである<The Lodge>に足を運ぶ事です。バー店内には樹齢 2000 年のログキャビンがあり、さらに独特の魅力が生み出されています。

業務に疲れたエンジニアやプログラマは、それぞれのキャビン内で休憩したり、食事をしたり、時にはいつもと違うスペースで仕事をする事で新たな視点を得たりする事ができます。キャビンの外のブースやカフェテーブルはセミプライベートなスペースになっていて、ワークグループミーティングもできるし、テレビ会議システムを使って、世界にあるツイッターの 30 以上の拠点のチームメンバーと会議する事も可能です。

それでもやはり、このスペースの大きな目的は「リラクゼーションの場の提供」です。仕事でも、コネクションでも、生産性でもありません。このスペースの前方の壁は 9 つの画面でできたビデオウォールになっていて、常にスポーツの生中継を流しています。

このような、「休憩スペース」と「気軽なミーティングスペース」が統合された、スペースは、クレストロンデジタルメディアによって可能となり、クレストロンのシステム管理テクノロジーによってハイレベルな音声と動画システムによって、生まれたのです。



良く働き、良く遊ぶ

カリフォルニアに拠点を置く多くの企業と同じように、ツイッターもまた、「良く働き、良く遊ぶ」のは良い事であると考えています。

しかし、これだけ多くの人々を集めるプラットフォームを提供するに当たり、この企業は、スタッフ同士が個人個人のつながりを築き上げる事が特に大切だと認識していました。ですから、「the Lodge」に加えて、この企業の他の共有スペースは、カフェテリアであり、ゲーム室もあり、屋上のパティオには快適なソファだけでなくラウンジチェアやゲームのできる芝生まであるのです。

だからこその本社には、最先端のハイテクノロジーと自然の雰囲気が続合された、暖かく明るい、人を歓迎するような雰囲気があるのです。

ツイッターの本社オフィスは約3年前、サンフランシスコのマーケット・ストリートにある1937年アールデコの建物に移転しました。このロケーションは2つの利点がありました：スタッフが、便利で人気な都心部に住み、シリコンバレーに1時間以上かけて通勤する必要が無い。そして、定期的に増築、改修する事によるさらなる発展への可能性です。

元々、ツイッターはこの建物の7、8、9階のみを使用していました。しかし間もなく、10、11階にも拡張して行きました。昨年6月には、5階と6階と拡張し、約743平方メートル（約225坪）の「The Lodge」をオープンしたので。このスペース内のキャビンは、元来モンタナの入植者によって建てられた「本物の」ログキャビンを、解体してここまで運んできたものなのです！

これらのキャビンに加えて、「the Lodge」のカフェエリアには、丸テーブルがビデオウォール近くに置かれ、80"のシャープ社製TVを1人占めできるコーヒーパー、6階のキッチンへと続く階段、そして12つのセミプライベートブースがあるバックエリアがあります。

“デザインするに当たっては、全てにおいて簡単さを最重視しました。ユーザは簡単にタッチスクリーン上のリストからソースを選択でき、それを利用したいディスプレイやオーディオゾーンの画像上にドラッグするだけで良いのです。”

— Alex Stillings
IT マネージャー, Twitter

“私はマネージャーとして、このスペースで1対1のミーティングを行い、直接の意見を聞いてきました”と述べる、IT マネージャーのアレックス・スティリング氏は、この会社における全てのオーディオ、ビデオシステムのデザインとインストールに関する責任者です。“私が見た所によると、スタッフ達は、ここで仲間のバースデーパーティーを開催したり、スタッフが新しく加わった時にはここで交流を深めたり、プロジェクトを終わらせた後には打ち上げパーティをしています。”

“このビル内では、2000名以上のスタッフが働いています。「the Lodge」は、我々に中心的なミーティングの場所を提供してくれます。仕事場のパーティションの周りで立ち話をする代わりに、彼らはここに来てコーヒーパーやビールを飲みながらリラックスして会話する事ができます。”もし、チームメイトが離れた場所にいたとしても、テレビ会議システムを使ってチャットする事ができます。そう、一緒に何か飲み物でも飲みながら——仮に、物理的には一緒になくても、こうして仲間としての意識を高める事もできるのです。



このスペースは特に有用です。なぜならツイッターはその性質上、世界中で開催されているスポーツのイベントと、密接に関わっているからです。

ツイッターは、選手やファン、コメンテーター達が、ニュースやアイデアを共有するためのプラットフォームなのです。だからここは、そのツイッターのシステムを作るスタッフが実際に、ユーザーがツイートしている試合を観戦し、ユーザーの興奮や喜びを自分達も経験する事ができるとも大切な場所なのです。

AV システムのデザイン

カリフォルニア州サニーベールを拠点とするスレッシャー・コミュニケーション社の AV 統合プログラムマネージャであるアンドリュー・ジョーンズ氏もまた、Twitter 社の「the Lodge」についてこう述べています。「the Lodge は、とてもクールで、特別な場所だね！」

スレッシャー社は、ツイッター社と共に仕事をするようになってから約3年の間で、世界に広がるツイッター社内全ての AV システムのデザインスタンダードを作り上げました。もちろんその中ではクレストロンの技術が大規模に活用されています。またスレッシャー社は、本社や、その他地域における施設におけるインストールに必要な人員を提供しています。

“我々は、この大変興味深く、多様なパーツによって作られている「the Lodge」の需要に応え得るシステムをデザインする必要がありました。と、ジョーンズ氏は述べます。“我々は、テクノロジーを活用して、楽しい雰囲気を作り出し、コミュニケーションをより楽しくするための手伝いをしているのです。”そして、その努力の中でも重要なポイントは、クレストロンの

DigitalMedia™ ネットワークを活用し、ビデオ、オーディオ共に最高級のクオリティを保つという事でした。そして、クレストロンのシステムですから、操作はとても簡単です。

スレッシャー社副社長であるデビット・ヘインズ氏は、Planar® 社の 46 インチディスプレイを9つ、3x3の配列で設置しました。多くの場合ビデオウォールは、5.5フィートx10フィートの大きな画像1つを表示していますが、これら1つ1つのディスプレイは、別々のチャンネルを表示する事もできます。ヘインズ氏はまた、クレストロンのタッチスクリーンに、4つの画面で1つの画面を表示し、残り5つの画面ではそれぞれ違うチャンネルを表示するという、「6画面設定」も組み込みました。「今年のマーチ・マッドネス（全米大学バスケットボール・トーナメント決勝）観戦で、このマルチスクリーン設定を活用できるのが、とても楽しみなんだ！」と、スタイリング氏はいます。

このテレビ会議システムにおいては、高解像度コーデックを取り入れていて、カメラはパン・チルト/ズームカメラ2つを使用します。

1つ目のカメラはビデオウォールの脇にある引出しに設置されていて、ミーティングの参加者のキャプチャをします。もう1つは、ビデオウォールの向かい側に設置されていて、プレゼンターのキャプチャをします。スタッフは、ビデオウォールを使って最大9つまでの画像を表示する事ができます。その中の画面にはラップトップの画面も含む事もできます。

ビデオウォールは DM® 32X32 スイッチャで接続されています。ユーザは送りたいソースをどのような組み合わせでも使用したいディスプレイに送信する事ができます。 .

ソースには 18 の DIRECTV® 受信機、テレビ会議システム、そして、ラップトップ用のデジタル・アナログ両方の入力端子のある2つのクレストロンウォールプレートが含まれます。

「The Lodge」にはまたハイレベルサウンドシステムが導入されています。サウンドシステムは3つのゾーンに分かれています。QSC® アンプが音楽を送り出し天井に設置された30の Tannoy® 社製スピーカーに接続されている、2つのワイヤレスマイクシステムです。

“デザインするに当たって、全てにおいて簡単さを追求しました。” スタイリング氏は言います。そこで、ヘインズ氏とスレッシャーチームは、ビデオウォール脇の棚にクレストロンの10インチタッチスクリーンを設置しました。



“ユーザは、タッチスクリーンのリストから好きなソースを選び、使いたいディスプレイかオーディオゾーンの画像までドラッグするだけで良いのです。”
また、スレッシャーは、全てのシステムを徹底的にコントロールできるよう、パスワードで保護された、技術者用画面も設定しました。

キャビン内の各 TV の下に、スレッシャーは7インチのクレストロンタッチスクリーンを設置しました。スクリーンは2つで、一方は8つの最も人気がある DIRECTV のチャンネルで、もう一方のスクリーンでは他のユーザーが、好きなチャンネルにアクセスする事ができます。“タッチスクリーンは、DIRECTV のリモコンよりも少しだけ値段が高いんです。” スタイリング氏は言います。“しかしそれだけの価値があります。タッチスクリーンの方が使い方も相当簡単だし、見栄えもずっと良い。そして、小さなリモコンにありがちな「リモコンが無い！」という事態が起こらない。”

スタイリング氏とそのチームは、インターネット環境がある場所からならどこからでも、すべてのコントロール画面にアクセスする事ができます。

例えば誰かがビデオウォールの設定や、ミーティングの音声を設定するに当たって助けが必要だったりする場合に、遠隔地からサポートする事ができます。“私の携帯には、クレストロンのモバイルアプリがインストールされています。まあ、私は常にラップトップを持ち歩いていますから、そちらを使っていますけどね。”

スタイリング氏によると、3年前にスレッシャーチームが彼に DigitalMedia を紹介してくれたとの事。“デジタルメディアの最も優れている点は、複数の HDMI[®] 入力端子に VGA 端子、さらにアナログオーディオまでが、何百メートル先にも拡張できる、1つのトランスポートレイヤー上にあるという点でした。我々は、クレストロンのタッチスクリーンをテレビ会議で使い始め、様々な信号を DigitalMedia でルーティングする事にしました。”

それだけでなくクレストロンのシステムは、照明やシェーディングを含む、部屋全体をコントロールできる素晴らしいインターフェイスを与えてくれるのです。我々の、もっとシンプルな部屋には、クレストロンのシステムの「自動オン・オフ」を設定しています。

私はただ部屋に入り、自分のラップトップをプラグインする。それだけで必要なシステム全てがオンになるのです。パネルリモコンも、必要ないので。

“スレッシャー社もまた、素晴らしいベンダーです。ツイッターが爆発的に伸びていた時期には、安定したデザインスタンダードが絶対に必要でした。それを彼らは提供してくれました。おかげで私の作業負荷をかなり減らす事ができました。”

“これらの全てが、あまりにも上手く行っているので、我々は他のソリューションを探す事もしませんでした。他に探す必要も無いからです。”

“このシステムは、我々のスタッフに本当に人気なので、例えばワールドカップのようなビッグイベントがある時には、（あまりにも人が多く来るので）立ち見オンリーの状態なんです。”

「The Lodge」もまた、ツイッター本社に確固たる付加価値を与えていることは明らかです。1日中オープンしていますから、スタッフが業務終了後に

そこで待ち合わせて、ちょっと一杯飲みながらスポーツ観戦をするというような姿はしょっちゅう見られます。

「さすがに日曜日は仕事が休みだからここには来ないけどね」スタイリング氏は言いました「だけどもし、休みの日もここに集まってフットボール観戦をしているスタッフ達がいても、僕は全く驚かないよ！」

Integrator

Thresher Communications & Productivity, Inc.
www.alopias.com

Registered trademarks, and trade names are the property of their respective owners. © 2015 Crestron Electronics, Inc. Published 2/2015.